

●鈴木貞美『「日本文学」の成立』中、「ボスネット」”Bosnet”は、

逍遙の誤記です。柳田泉も踏襲していました。正しくは、
ポスネット、**Hutcheson Macaulay Posnett** (fl.1882-1901)。
アイルランド出身、ニュージーランドで法律家、学者と
して活躍。” comparative literature” という表題をもつ、
はじめての書物を上梓した人とされています。

日文研客員研究員のフィリップ・ハリス教授のご教示で判明。
2009年12月の日文研ジェフリー班「翻訳の文化史」で報告。
なお、『成立』中、「フランス人と思われる」と推測したのは、
綴りおよび比較文学が19世紀中葉のフランスからさかんにな
ることから見当をつけたのですが、不明を恥じるとともに、こ
こに訂正しておきます。これから、この本の受容史に気をつけ
なければなりません。

追記。野上豊一郎「翻訳論」岩波講座『世界文学』第1回配本
(8冊、1932年11月)に書名が登場していました。(2009/12)

補訂(2011/5/11)